

令和8年〔前期〕
保育士試験 及び 地域限定保育士試験
問題用紙

保 育 の 心 理 学

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

【注意事項】

各問題の正答数は、問題文中に示される。

問題文中に示された正答数と異なる数を解答すると、不正解になる。

【例題 1】

問 1 次のうち、〇〇に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ……
- 2 ……
- 3 ……
- 4 ……
- 5 ……

正答が「2」である場合は、マークシートの「②」を塗りつぶしていれば正解になる。



問題番号	解 答 番 号
問 1	① ● ③ ④ ⑤

問題文中に示された正答数と異なる数を塗りつぶすと不正解になる。



問題番号	解 答 番 号
問 1	① ● ● ④ ⑤

【例題 2】

問 2 次のうち、〇〇に関する記述として、正しいものを3つ選びなさい。

- 1 ……
- 2 ……
- 3 ……
- 4 ……
- 5 ……

正答が「2」「3」「5」である場合は、マークシートの「②」「③」「⑤」を塗りつぶしていれば正解になる。



問題番号	解 答 番 号
問 2	① ● ● ④ ●

問題文中に示された正答数と異なる数を塗りつぶすと不正解になる。



問題番号	解 答 番 号
問 2	① ② ● ④ ⑤



問題番号	解 答 番 号
問 2	① ② ● ④ ●

解答用紙に「記入上の注意事項」が記載されているので併せて確認すること。

問1 次のうち、発達についての考え方に関する記述として、適切なものを3つ選びなさい。

- 1 シュテルン (Stern, W.) は、発達は遺伝的要因と環境的要因が加算的に作用し、両者が輻輳して一つの形質に結実するものであるとした。
- 2 ゲゼル (Gesell, A.L.) は、一卵性双生児の階段上りの実験の結果から、発達は基本的に神経系の成熟によって規定されるとした。
- 3 学習の成立にとって必要な個体の発達の素地、心身の準備性のことをレジリエンスという。
- 4 ワトソン (Watson, J.B.) は、成育初期に与えられたある種の経験が、後年の生理的・心理的な発達に消しがたい行動を形成させる期間として、臨界期の存在を明らかにした。
- 5 発達段階とは、ある時期の心身の機能や構造が前後の段階と異なるというような質的な変化を想定して区切ったものである。

問2 次のうち、子どもと環境の相互作用に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A ピアジェ (Piaget, J.) によれば、子どもは能動的に環境に働きかけ、環境からの情報を選択し、解釈し、主体的に知識を構成する。
- B ギブソン (Gibson, J.J.) によって提唱されたアフォーダンス理論では、環境自体がヒトの関わり方の手がかりをもっているとされている。
- C サメロフ (Sameroff, A.J.) は、社会的構成主義の立場に立ち、子どもは大人の与える環境や援助を足場として、他者との相互作用の中で発達すると考えた。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |

問3 次の文は、子どもと身近な他者とのやり取りに関する記述である。A～Dに関連する用語を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 生まれて間もない時期から、大人が話しかけると、子どもはその話しかけに反応するように同期して自分の身体を動かす。
- B 生まれて間もない時期から、子どもは他児の泣き声を聞くとつられて泣き出すことがある。
- C 向かい合って口を開けたり、舌を出したりする大人の動きをじっと見ていた子どもが、しばらくすると同じような動きをする。
- D 生後9か月頃になると、子どもは他者の視線や指さしを追って、他者と一緒にものを見ることができるようになる。

【語群】

ア エンTRAINメント	イ 情動伝染	ウ 役割取得
エ エフォートフル・コントロール	オ 共鳴動作	カ 協応動作
キ 二項関係	ク 共同注意	

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | キ |
| 2 | ア | イ | オ | ク |
| 3 | ア | ウ | カ | キ |
| 4 | エ | イ | カ | キ |
| 5 | エ | ウ | カ | ク |

問4 次の文は、ヒトの出生時の特徴についての記述である。(A) ～ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

ヒトは、出生時において完成に近い脳髓や感覚器官をもって生まれてきているが、直立姿勢や、歩行などの点では、自立して生活していくには未成熟な状態にある。(A) はこれを (B) と呼び、(C) という考え方で説明した。つまり、ヒトは脳の発達が著しいため、十分な成熟を待って出産することは体の大きさの問題から難しく、約 (D) 早く未熟な状態で生まれるといわれている。

【語群】

ア	ハーロウ (Harlow, H.F.)	イ	2年	ウ	二次的離巢性
エ	生理的早産	オ	二次的就巢性	カ	ポルトマン (Portmann, A.)
キ	身体的早産	ク	1年		

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	ウ	エ	イ
2	ア	ウ	キ	ク
3	ア	オ	エ	イ
4	カ	ウ	キ	ク
5	カ	オ	エ	ク

問5 次の文は、保育所でみられる子どもの姿に関する記述である。A～Dに関連する用語を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 実際には見えていない土の中のジャガイモを描く。
- B 赤い夕陽を見て、「お日様が照れているよ」と保育士に言う。
- C 保育所にお化けが出てくる夢を見た後に登園すると、保育所にお化けがいると思う。
- D 既にごっこ遊びをしている子どもが、新たに参加する子どもに、遊びの設定や役割の説明を行う。

【語群】

ア 知的リアリズム	イ 視覚的リアリズム	ウ アニミズム	エ タブラ・ラサ
オ 実念論	カ 認知的葛藤	キ 心の理論	ク 活動理論

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | キ |
| 2 | ア | ウ | カ | ク |
| 3 | ア | エ | カ | キ |
| 4 | イ | ウ | カ | ク |
| 5 | イ | エ | オ | ク |

問6 次のうち、言葉の発達に関する記述として、適切なものを3つ選びなさい。

- 1 大人が乳児に向かって話しかけるときには、普段よりも高めの声で、ゆっくりと、抑揚を強調して話しかけることが多い。これは社会性言語と呼ばれる。
- 2 文字を書き始める時期には、左右が逆転したような文字がみられるが、多くの場合、空間認識能力の成熟に伴って自然に修正される。
- 3 しりとりなどの言葉遊びは、文字学習の基礎となる音韻意識を高めることにつながる。
- 4 生後2か月頃になると、機嫌のよい時に喉の奥から「クー」「アー」などのやわらかい音を出すようになる。これを喃語という。
- 5 5歳頃になると、「ゆっくりゆっくり」と言いながら水がこぼれないようにジョウロを運ぶなど、言葉によって行動を調整することができるようになる。

問7 次の文は、保育所での幼児の学びの過程に関する記述である。A～Dに関連する用語を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 片付けの時間に、保育士が一生懸命片付けている他児を褒めているのを見て、自分も片付け始める。
- B 担当保育士の注意が自分に向くことが嬉しくて、わざと保育士を困らせる行いを繰り返す。
- C 自分の力でこま回しを成功させることは難しいが、保育士が手を添えて一緒にやってみると上手く回すことができる。
- D なわとびを楽しむ子どもに、10回跳べるごとにシールをあげることにしたところ、はじめのうちはシールを目標に喜んでなわとびをしていたが、シールがもらえなくなると、なわとびをやらなくなった。

【語群】

ア アンダーマイニング現象	イ 洞察学習	ウ 古典的条件づけ
エ 観察学習	オ オペラント条件づけ	カ エンハンシング効果
キ 発達の最近接領域	ク 正統的周辺参加	

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	イ	ウ	キ	カ
2	イ	オ	ク	カ
3	エ	ウ	ク	ア
4	エ	オ	キ	ア
5	エ	オ	ク	カ

問8 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

2月のある朝、園庭に遊びに出たP君（5歳）は、バケツに氷が張っていることに気づいた。「水になってる！先生、凍ってる！」と驚いた様子でK保育士に伝える。K保育士はバケツをのぞきながら「わあ！本当だ！」と驚く。P君は「今日もバケツに水を入れて帰ったら、明日の朝、凍ってるかな」と言う。その日、P君は水を入れたバケツを砂場の横に置いて降園した。

翌朝、P君は、昨日のバケツをのぞき込む。バケツの水は凍っていなかった。P君は「K先生、今日は凍ってなかった。なんでだろう？」とK保育士に伝える。その様子を近くで見っていたQ君（5歳）もバケツをのぞき、「水が多かったんじゃないの？」と言う。P君はしばらくバケツを見つめ、「砂場のところに置いたからかも」と言う。Q君は「ほくも氷つくってみたい！水は少なめに入れてみよう」とP君に言う。P君は「じゃあ、ほくは、1番寒いところに置いてみよう」とQ君に言い、二人で寒い場所を探しに行った。

【設問】

次のうち、P君とQ君が経験していることに関連する用語として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 保存概念
- 2 スクリプト
- 3 脱馴化
- 4 自覚的な学び
- 5 発見学習

問9 次のうち、自己意識と感情の発達に関する記述として、適切なものを3つ選びなさい。

- 1 生後3か月頃から、自分の手を目の前にかざし、その手を真剣に見つめるというハンドリガードがみられるようになり、自分の身体への気づきをもたらす。
- 2 喜び、怒り、悲しみ、恐れ、驚きなどの一次的感情は、生後3～4か月頃までには出揃う。
- 3 2歳頃には、鏡に映っている自分の姿を自分だと認識できるようになり、客観的に自分を認識できるようになったことの現れといえる。
- 4 2、3歳頃には、自分の欲求や周囲の期待と比較して、自己評価ができるようになり、目標が達成できない場合に苛立ちや当惑が生じることもある。
- 5 幼児期後期には、自分と他者を比較する社会的比較によって、自己について肯定的な側面だけでなく否定的な側面の評価も可能になる。

問10 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

5歳児クラスのMちゃんとSちゃんが向かい合って手遊びをしようとしている。Mちゃんが「右の手だして」と言ったので、Sちゃんは右手を差し出す。すると、Mちゃんは「ちがうちがう」と言って、Sちゃんの左手を引っ張る。

【設問】

次のうち、Mちゃんの行動に関連する用語として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 問主観性
- 2 関係性攻撃
- 3 メタ・コミュニケーション
- 4 循環反応
- 5 自己中心性

問 11 次の文は、学童期および青年期の発達についての記述である。提唱した人物を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A アイデンティティの達成の程度は、拡散、モラトリアム、早期完了、達成の4つのアイデンティティ・ステータスに分類される。
- B 向社会的な行動が要求される場面において、自分に得があるかどうかといった自分自身に対する関心が支配的な段階から、他者の要求に気が付く段階、他者からの承認・受容を考慮する段階、同情・共感・役割取得による他者配慮の段階へと進んでいく。
- C 他者の視点に立って自分の思考や感情を内省し、他者もそれができることを理解できるが、まだ自他の視点を統合できていないため、葛藤が生じた場合に友人関係がうまくいかないこともある。

【語群】

ア アイゼンバーグ (Eisenberg, N.)	イ エリクソン (Erikson, E.H.)
ウ マーシア (Marcia, J.E.)	エ セルマン (Selman, R.L.)
オ ホフマン (Hoffman, M.L.)	カ ギリガン (Gilligan, C.)

(組み合わせ)

- A B C
- 1 イ ア カ
- 2 イ オ エ
- 3 ウ ア エ
- 4 ウ オ エ
- 5 ウ オ カ

問 12 次のうち、成人期の特徴を示す用語として、適切なものの組み合わせを1つ選びなさい。

- A ワーク・ライフ・バランス
- B アイデンティティの再体制化
- C 心理・社会的モラトリアム
- D 心理的離乳

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 13 次のうち、家族関係・親子関係の理解に関する記述として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 家族ライフサイクル論とは、家族の誕生から家族がなくなるまでのプロセスをたどる理論であり、家族にも発達段階と発達課題があるとされている。
- 2 家族を多世代的に把握する方法として、三世代以上の家族メンバーを盛り込んだ家族図を描くジェノグラムがある。
- 3 家族で起こる問題を、原因から結果への一方向的な流れを示す直線的な因果関係として理解しようとする考え方を、家族システム論と呼ぶ。
- 4 「2023（令和5）年国民生活基礎調査の概況」（厚生労働省）によると、この30年の間に核家族化が進行し、三世代世帯が減少している一方で、夫婦と未婚の子のみの世帯は増加している。
- 5 アタッチメントには個人差があり、その個人差を測定するためにボウルビィ（Bowlby, J.）によって開発されたのが、ストレンジ・シチュエーション法である。

問 14 次のうち、子育て家庭に関する記述として、適切なものの組み合わせを1つ選びなさい。

- A 「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果の概要」（厚生労働省）によると、子どもについての悩みの内容は、母子家庭では「教育・進学」が最も多く、父子家庭では「しつけ」が最も多い。
- B 再婚家庭のうち、夫か妻のどちらかに前の結婚で生まれた子どもがいる場合、ステップファミリーと呼ばれ、その家庭には血縁関係のない親子が1組以上含まれる。
- C 障害や発達上の課題が見られる子どもの就学に際して、保育所は保護者の意向よりもそれまでの子どもの発達の経過を重視し、小学校や特別支援学校等、就学先との連携を図る。
- D 保護者に不適切な養育等が疑われる場合には、保育所は市町村や関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会で検討するなど適切な対応を図ることが求められる。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 15 次のうち、虐待が子どもに与える影響に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 愛情不足により成長ホルモンが抑えられた結果、成長不全を呈することがあり、一時保護された後も大幅に身長が伸びたり、体重が増えたりすることはない。
- B 子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうことは、子どもに対する心理的虐待に該当し、子どもにとって心的外傷となり得る。
- C 虐待が子どもの知的発達を阻害することはない。
- D 大人の欲求を読み取って先取りした行動をとったり、大人びた行動をとったりすることがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問 16 次のうち、子どもの心の健康に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 生後6～8か月頃の子どもの養育者と一時的に離れる際に、泣いたり、後追いやしがみつきをみせたりすることを分離不安症という。
- B 子どもの心身症とは、子どもの身体症状を示す病態のうち、その発症や経過に心理社会的因子が関与するものをさす。
- C 自分の意思とは関係なく、突然、繰り返し体の一部が動いたり声が出たりする状態をチックという。チックには、連発型、伸発型、難発型がある。
- D 反応性アタッチメント障害の特徴として、初対面の人にも過度に甘えるなど、誰にでも構わず馴れ馴れしい行動をとる様子がみられる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問 17 次の文は、保育所での子どもの遊びについての観察記録である。パーテン（Parten, M.B.）の遊びの社会的参加の分類に基づいて、A～Dに関連する用語を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 砂場でおだんごをつくって遊んでいる他児をそばで見ている。その他児に話しかけることもあるが、一緒に遊ぼうとはしない。
- B みんなでお化け屋敷ごっこをしようと、お化けの種類を考え、誰が何のお化けになってどのように驚かすかを話し合い、協力しながら準備をする。
- C 病院ごっこをしている2人の子どもが、道具を貸し合って会話をしながら、役割分担はせずに2人ともお医者さんのつもりで一緒に遊んでいる。
- D ブロックで遊んでいる子どもたちのそばで、同じようにブロックをつなげて剣を作るが、剣を作っている子どもたちの間でやり取りはない。

【語群】

ア 傍観者の行動	イ 利他的行動	ウ 一人遊び	エ 平行遊び
オ 連携遊び	カ 連合遊び	キ 機能遊び	ク 協同遊び

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | キ | オ | ウ |
| 2 | ア | キ | カ | ウ |
| 3 | ア | ク | カ | エ |
| 4 | イ | キ | オ | ウ |
| 5 | イ | ク | カ | エ |

問 18 次のうち、社会性の発達に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 養育者との間にアタッチメントが形成されると、人見知りがみられるようになる。
- B 5歳頃になると、自他の感情表出の結果や影響についての理解がみられ始める。
- C 3歳未満児同士のいざこざの多くは、ルール違反やイメージのずれが原因である。
- D 自分の感情や行動をコントロールする力である自己制御には「自己主張」と「自己抑制」があり、両者はほぼ同じスピードで発達していく。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問 19 次のうち、「遠城寺式・乳幼児分析的発達検査法（九州大学小児科改訂新装版）」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 検査問題は年齢の順に並んでおり、0か月から6歳0か月まで測定できる。
- B 検査問題のうち、「社会性」の分野は「基本的習慣」と「対人関係」から構成されている。
- C 簡単に短時間で検査できることを特徴としており、日常生活場面で一般的に観察される問題で構成されるため、検査用具は使用しない。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	×
5	×	×	○

問 20 次の文は、小学校への接続期における学びの特徴に関する記述である。(A) ～ (C)
にあてはまる語句の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

小学校入学後の子どもが授業中に立ち歩いたり、教師の言葉を聞かなかったりするなどの問題行動は (A) と呼ばれる。幼稚園や保育所等の幼児期の教育と小学校の教育は、教育内容や方法が異なるだけでなく、生活自体が異なる。そのため、両者の環境の違いに戸惑う子どもは少なくない。このような子どもの不安や戸惑いを低減し、安心して学びに向かうことができるように、小学校では (B) と呼ばれる、(C) を中心とした特別な教育課程を作成する。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	小1ギャップ	アプローチカリキュラム	生活科
2	小1ギャップ	スタートカリキュラム	社会科
3	小1プロブレム	アプローチカリキュラム	生活科
4	小1プロブレム	アプローチカリキュラム	社会科
5	小1プロブレム	スタートカリキュラム	生活科